

## 令和6年度独立行政法人日本学生支援機構評価委員会 議事要旨

1. 日 時 令和6年6月10日（月）13：00～14：15
2. 場 所 日本学生支援機構東銀座事務所8階 第1会議室（ハイブリッド会議）
3. 出席者 （委員）梅原委員（委員長）、小川委員、小嶋委員、坂本委員、深堀委員、堀江委員  
（機構）吉岡理事長、蝦名理事長代理、石川理事、谷合理事、吉野理事、竹内監事、西川政策企画部長、尾島総務部長、内藤財務部長、頼本奨学事業戦略部審議役、吉村奨学事業戦略部長、丸山留学生事業部長、山本学生生活部長  
（文部科学省）松本高等教育局学生支援課専門官、菊地高等教育局参事官（国際担当）付留学生交流室室長補佐
4. 議 題
  - （1）第4期中期目標期間業務実績・自己評価案及び令和5年度業務実績・自己評価案について
  - （2）第5期中期目標期間業務実績及び令和6年度業務実績に係る評価指標案について
5. 資 料
  - 資料1－1 第4期中期目標期間（令和元年度～令和5年度）業務実績及び令和5年度業務実績のポイント
  - 資料1－2 第4期中期目標期間業務実績等報告書（案）
  - 資料1－3 令和5年度業務実績等報告書（案）
  - 資料1－4 独立行政法人日本学生支援機構の第4期中期目標期間業務実績及び令和5年度業務実績に関する評価意見（案）
  - 資料2－1 第5期中期目標期間及び令和6年度業務実績に係る評価指標案のポイント
  - 資料2－2 第5期中期目標期間及び令和6年度業務実績に係る評価指標案
  - 資料2－3 第5期中期目標期間における定量的指標の評定基準及び達成度の算定方法
  - 資料2－4 第5期中期目標期間及び令和6年度業務実績に係る評価指標案に対するご意見
6. 議事要旨  
委員の互選により梅原委員が委員長に選出された。
  - （1）第4期中期目標期間業務実績・自己評価案及び令和5年度業務実績・自己評価案について  
事務局より、資料1－1～資料1－4に基づき説明が行われ、資料1－2及び資料1－3の自己評価案が妥当であると認められるとともに、資料1－4の評価意見案も原案のとおり了承された。

委員からは、貸与奨学金の総回収率について、伸び代が少ない中で様々な努力を重ね、継続して前年度を上回った状況は高く評価できること、数値目標の設定について、限られた資源の中で効率的・効果的に事業を実施するためには、達成可能性や費用対効果を勘案することが重要である、などの意見が述べられた。

- (2) 第5期中期目標期間業務実績及び令和6年度業務実績に係る評価指標案について事務局より、資料2-1～資料2-4に基づき説明が行われ、資料2-2の評価指標案について原案のとおり了承された。

委員からは、実績値より低水準の目標値については設定した理由を示すことが望ましいこと、高い評価が得られる顕著な成果とは如何なるものであるか整理することにより実際に高い評価を目指すことができる、法人経営が非常に厳しい中での着実な事業運営は素晴らしく、引き続き国と連携した事業の実施に期待する、などの意見が述べられた。

以上